

令和6年度 大田区立矢口東小学校 学校経営方針

校長 雨笠 常宣

大田区教育委員会教育目標

令和6年3月に新たな大田区基本構想が策定され、大田区教育委員会教育目標が見直されました。

めざすこども像

- ・意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動することも
- ・多様性を尊重し、自分や人を大切にして生きること
- ・地域とのつながり、社会の一員として貢献しようとするこども
- ・自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出すこども

◎ 矢口東小学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、意欲をもって主体的、創造的に取り組む児童の育成を目指し、次の目標の達成に努める。

・自ら学ぶ子

学力向上だけでなく

- ・ 自己解決力（問題を解く手立てが考えられる子）
- ・ 意欲（言う気、やる気、確かめる気）

を高める。

◎心豊かな子（令和6年度 重点目標）

- ・ 自他の思いを考えられる子に育てる。
他学年とのかかわりを深めながら自己を見つめなおす。
- ・ 自己肯定感を高める。（キャリア教育の観点からも）
何もやらずに初めから諦めない。

・たくましい子

体力テストの結果を児童自らが感じ、自己の体力を高めようとする
気持ちを育てる。

◎ 生き生きとした学校

教職員及び児童対象に生き生き度を計る。

17項目を確認。

17項目の内下位の値を示した内容（生き生き度一学期⇒三学期の変化）

17位⇒17位	自分の思いや考えを伝えることができます。
16位⇒14位	<u>地域の人とのかかわりを大事にしています。</u>
15位⇒11位	<u>美しいものや心を動かす出来事に触れ、 感じる心やイメージを大事にしています。（上学年）</u>
14位⇒14位	自分の気持ちを整理する力をもっています。（下学年）

ちなみに上位の値を示した内容（生き生き度一学期⇒三学期の変化）

2位⇒1位	協力し合い、友達と一緒に遊んでいます。
4位⇒2位	元気にあいさつや返事をしています。
1位⇒3位	体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

キャリア教育の指針に活かせるような

実践と意識化を図る。

こども…生き生き 保護者…納得 地域…信頼 教職員…笑顔で協働

- ・児童が明るく元気に生き生きと学び合える学校
- ・保護者が安心してこどもを任せられる学校
- ・地域力を借りてともにこどもの成長を考え合う学校
- ・教職員が個々の力を発揮し合える協力的な学校

◎ おおた教育ビジョン（令和6年から10年の五か年計画）

「理 念」

笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる

「基本方針」

- 方針1 持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成
- 方針2 誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出す
- 方針3 全ての区民が未来を担うこどもを育て、共に学び続ける

「個別目標」

基本方針1

- 目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成
- 目標2 世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成
- 目標3 一人ひとりが個性と能力を発揮しながら生きていく上で基礎となる力を育成

基本方針2

目標4 学校力・教師力を向上

目標5 一人ひとりの個性と能力を引き出す学びを支援

目標6 柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境をつくる

基本方針3

目標7 学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校をつくります

目標8 生涯学び続ける環境をつくります

◎ 学習指導

自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実

- ・学力の向上、特に基礎、基本の徹底とともに、活用する能力の向上にも努める。
- ・国語・算数は、他の教科の基礎ともなる。
- ・問題を解く手立てが考えられる・・・既習内容を活用させる学習指導
- ・習熟度別指導（算数）
- ・スパイラル的な指導

言語活動（言葉、漢字、計算）は繰り返しの学習が必要

（教育活動全体を通して指導をすすめる）

- ・東京ベーシックドリルの活用（算数）

5年・6年は4年生の診断テストを実施。

卒業までに全員が4年生までの学力を付ける。

（目標80%～90%の習熟をめざす）

1～4年生は、前学年の診断テスト、7割以上の習熟を8割の

児童に身に付けさせる

目標達成のために、確認シートをもとに補習教室や夏季休業中に

必要に応じて各児童に課題として提供していく。

◎ 生活指導

学校生活は、集団生活が基本。

様々な考えをもつ友達とどのように接するか、各学年の発達段階を踏まえた

指導をする。

- ・**コミュニケーション能力を高める** ※（コロナ禍の影響も）

- ・学校生活調査と学級集団調査（WebQU）の活用

- ・生活スタンダードをもとに共通した指導を（学習スタンダードと含めて）

- ・あいさつ、思いやり、感謝、奉仕

早寝・早起き・朝ごはんの徹底、遅刻“0” 忘れ物“0”を目標

- ・安心、安全の徹底

（ご協力ください。）

怪我や事故に対して、教職員が危機意識をしっかりとち、

児童が安全に過ごせるように努める。

PTAや地域の方々との連携を密にして、地域での安全にも啓発をしていく。

児童一人一人に対しても「自分の身は自分で守る」を念頭に交通安全、防犯、防災の指導に心掛ける。

各家庭においても自身の子供だけでなく、身近にいる子に対しても我が子同様に見守るように啓発をする。

・学校緊急メール配信システムの活用

地域でのセキュリティー強化、学校からの
緊急連絡等を配信。



新規登録



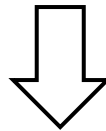
変更・追加・削除

◎ 校内研究について

令和7年度から

大田区では独自教科「おおたの未来づくり」(5・6 年)

自ら可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人を育成



創造的な資質・能力の育成

昨年度から取り組んできた研究

大田区研究推進校を受け、キャリア教育の研究をすすめていく。

目指す学校像

- ◎「自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実」
- ◎「一人ひとりが個性と能力を発揮できる学校づくり」
- ◎「生きていく上で基礎となる力を育成」

特別支援教育を見据えた学年・学級・専科経営を

◎ 特別支援学級への理解

・各学年・学級での理解の深化

(学年・学級との交流を深めたふれあいを)

◎ 特別支援教室への理解

・個別に指導を要する児童に対して、個々の適性にあった指導をすすめる。

・自立への支援

対象児童の実態を特別支援コーディネータとともに関係機関を含めた
ケース会議を実施して検討していく。

単に学習の遅れを補うものではないことを確認する。